



オーライ！ ニッポンニュース

暑中お見舞い申し上げます。オーライ！ニッポン事業も9年目を迎え、今年はグリーン・ツーリズムの映像コンテストなど新たな取組も始めます。平成23年8月9日

リーン・ツーリズム商品の情報収集を目的としたGT商品コンテストを行う。

また、入賞者をはじめ、応募したグリーン・ツーリズム商品のフォローアップとして、体験ツアーの参加者募集案内や実施結果について、アンケート調査を行い、その結果をオーライ！ニッポンWEBサイトで

第10回オーライ！ニッポン会議運営委員会開催

第10回オーライ！ニッポン運営委員会を8月2日に永田町の都道府県開会で開催致しました。平成23年度の農林水産省の食と地域の交付金による事業計画が7月12日に交付決定され、正式に事業がスタートしました。

第10回 オーライ！ニッポン会議運営委員会

日時：平成23年8月2日(火)13:30～

場所：都道府県会館 4階 410号室

東京都千代田区平河町 2-6-3

議事

- (1)平成22年度事業実施結果について
- (2)平成23年度事業実施について
- (3)講演：「農村と大学の連携、援農ボランティア、プロボノ、CSR(1社1村)等の都市と農山漁村の共生・対流の取組について」熊野 稔氏 独立行政法人 国立高等専門学校機構 徳山工業高等専門学校 教授
- (4)意見交換

以上

23年度事業概要

平成23年度の事業は、農林水産省補助事業「(食と地域の交流促進支援対策)により1000万円の事業予算により実施し、計画については、以下の通り。

1 事業の内容

グリーン・ツーリズム商品や農林漁家民宿の流通促進等を通じた都市農村交流の推進

(1) 多様な者から構成される運営委員会による都市農村交流の推進方策検討

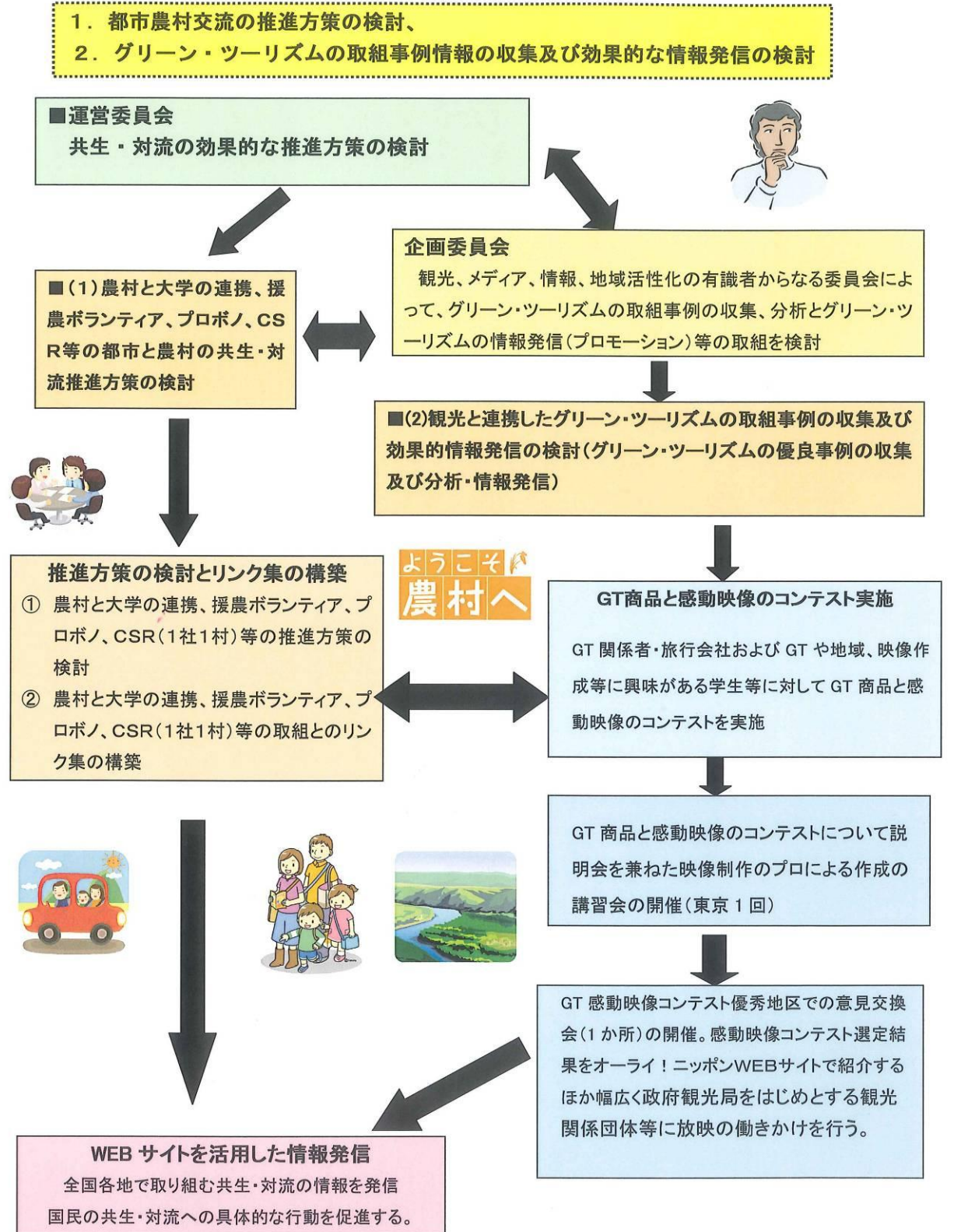
運営委員会による若者等を対象とした都市農村交流の推進方策を検討、リンク集の構築農山漁村振興に留意した農村のニーズと都会のニーズのマッチングを見据えて、農村と大学の連携、援農ボランティア、プロボノ、CSR(1社1村)等の都市と農山漁村の共生・対流の取組について運営委員会等での意見交換等を行い、都市農村交流の推進手法について検討するために取組事例等の情報を収集する。

また、収集したこれらの活動の情報をオーライ！ニッポンのホームページで紹介するとともに、取組団体とのリンク集を構築する。

◆平成23年度事業計画

- 運営委員会の開催(農村と大学の連携、援農ボランティア、プロボノ、CSR(1社1村)等共生・対流の推進方策の検討)2回(7月、翌3月)参加者各20人
- 農村と大学の連携、援農ボランティア、プロボノ、CSR(1社1村)等の取組団体とのリンク集の構築(10月～翌3月)

事業の概要図



(2) 観光と連携したグリーン・ツーリズムの取組事例の収集及び効果的な情報発信の検討(グリーン・ツーリズムの優良事例の収集及び分析・情報発信)

①グリーン・ツーリズム商品コンテストの実施

グリーン・ツーリズムに関する事例情報の収集と効果的な情報発信方策の検討を行うために、企画委員会を開催して、グリーン・ツーリズム商品コンテスト(以下「GT商品コンテスト」という)の実施方法、優秀賞の選定及びグリーン・ツーリズムに関する商品情報の収集とそれに伴う、効果的なグリーン・ツーリズム情報の発信方法を検討する。

企画委員会での検討を基に、オーライ！ニッポン大賞受賞地区等、グリーン・ツーリズムを実施している関係者を対象に、グ

紹介する。

②グリーン・ツーリズムのプロモーションの実施「グリーン・ツーリズム感動映像コンテスト」

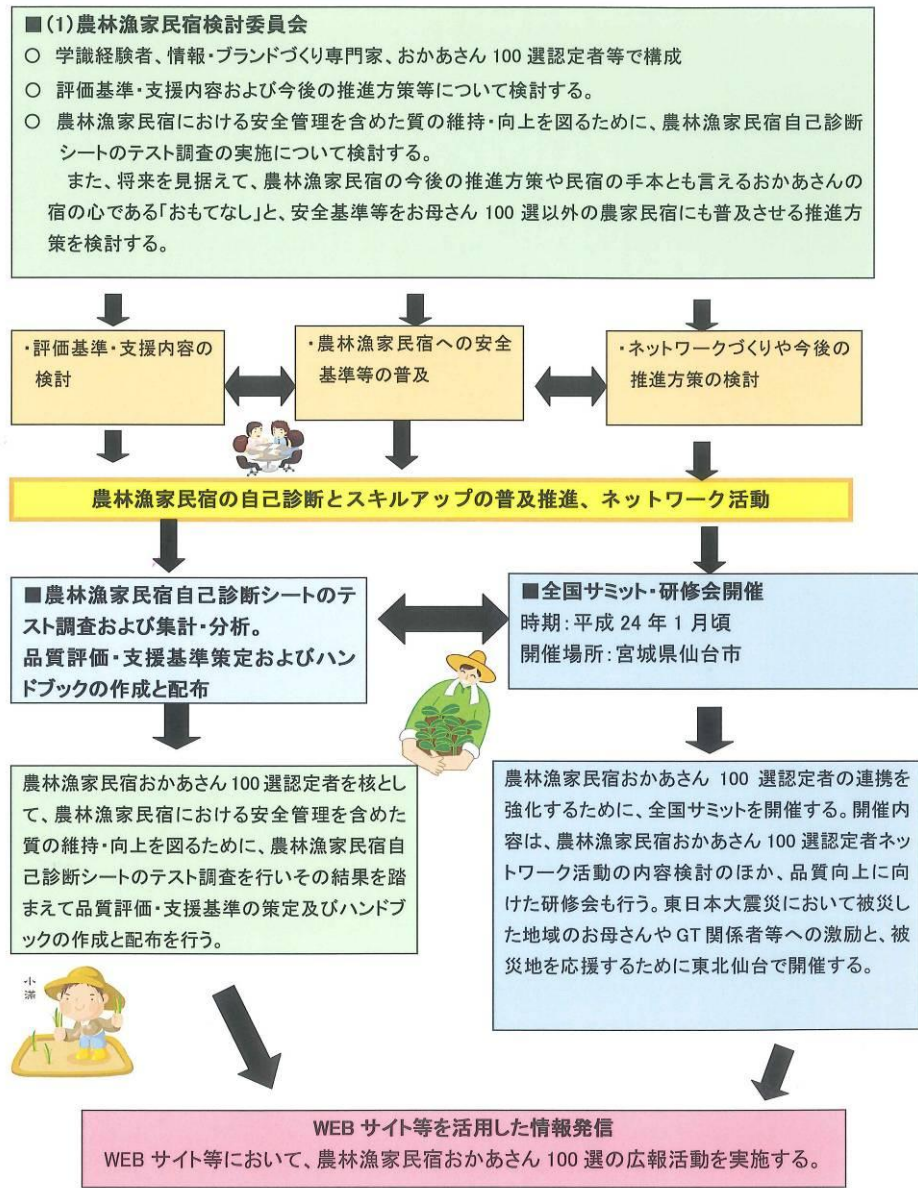
グリーン・ツーリズムは、経験者には高い満足感を得ているが、未経験者には具体的な内容が伝わりにくく、そのことがグリーン・ツーリズム促進の大きな課題となっている。そこで、グリーン・ツーリズムのプロモーションとして、都市部の人を対象にグリーン・ツーリズムを啓発普及するため、グリーン・ツーリズムの魅力等を映像(インターネット等の動画サイト[YouTube等]に投稿されている映像と同様な映像)で紹介することを目的に、「グリーン・ツーリズム感動映像コンテスト(仮称)」(以下「GT感動映像コンテスト」という)を行う。

実施にあたっては、企画委員会を開催して、GT感動映像コンテストの実施方法、優秀賞

オ. 現地意見交換会 1か所（翌2月）
カ. GT商品及びGT感動映像の発信

添付資料 4. 事業の概要図

3. 農林漁家民宿品質向上の方策の検討



の選定を含むプロモーション実施方法等の検討を行う。

GT感動映像コンテストで応募された作品は、オーライ！ニッポンのホームページで紹介するほか、政府観光局をはじめとする観光関係団体等で取り上げてもらえるよう働きかけをする。

GT感動映像コンテストの募集に先立ち映像の作成・PR方法を中心とした講習会を開催して映像によるグリーン・ツーリズム情報の発信を促進する。

また、その講習会の内容をWEBサイトから発信することで、講習会に参加できなかった関係者に向けて地域のグリーン・ツーリズムの映像発信の必要性（自らグリーン・ツーリズム等に関する情報を映像としてウェブ上で発信すること）及び応募の参考にしていただく。

グリーン・ツーリズムの商品化の促進及び映像発信を推進するために、23年度のGT感動映像コンテスト優秀賞受賞地区（1か所）でGT商品コンテスト受賞者、GT感動映像コンテスト受賞者と企画委員会委員等による意見交換会を実施する。

◆平成23年度事業計画

- ア. GT商品コンテストの実施（9月～12月）応募件数50件
- イ. GT感動映像コンテストの実施（9月～翌2月）応募件数30件
- ウ. GT商品コンテスト説明会とGT感動映像作成講習会の合同開催 1回（9月）

エ. 企画委員会開催（GT商品コンテスト、GT感動映像コンテストの実施方法検討、応募作品の選定）3回（8月、11月、翌2月）委員9人

を行い、品質評価・支援基準の作成を行う。そして、ハンドブックを作成し、品質評価

支援基準と共に配布して、民宿の手本とも言えるおかあさんの宿の心である「おもてなし」と、安全基準等を一般民宿（おかあさん100選以外の農林漁家民宿）にも普及させ、質の向上を図るものとする。

学識経験者、観光関係者、ホスピタリティ専門家、おかあさん100選認定者等で構成した「農林漁家民宿検討委員会」を設置して、品質評価・支援基準等の内容、農林漁家民宿自己診断シートのテスト調査方法、ハンドブックの作成及び今後の推進方策等について検討する。

さらに農林漁家民宿おかあさん100選認定者の連携を強化するために全国サミットを開催し、農林漁家民宿の活動内容を検討するほか、品質向上に向けた研修会も開催して地域の

(3) 農林漁家民宿の品質向上の方策の検討
農林漁家民宿における品質評価・支援基準等

平成19～21年度農林漁家民宿おかあさん100選事業において100名の認定者が誕生し、各地域で活動されている。

しかし、高齢化に伴う後継者問題や100選以外の人たちへの質的向上に向けてのフォローアップ等の問題がブロックミーティングで出ており、その解決策として、おかあさんの宿の質をどのようにとらえ、それを利用する消費者や後続の農家民宿を経営したい人々にどのように伝えていくかが課題となっている。

この課題を解決するために、以下の事業を実施する。

農林漁家民宿おかあさん100選認定者を核として、農林漁家民宿における安全管理を含めた質の維持・向上を図るために、農林漁家民宿自己診断シートのテスト調査を実施して、その結果の集計・分析

関係者にも普及させていくものとする。

開催場所は、東日本大震災において被災した地域のお母さん等GT関係者を激励と被災地を応援するために仙台市内で開催するとともに、WEBサイト等において、農林漁家民宿おかあさん100選の広報活動を実施する。

以上のことから、おかあさん100選認定者の活動を目指し、農林漁家民宿のレベルアップと増加、さらには、後継者問題や人材育成にもつながり、グリーン・ツーリズムの振興を図るものとする。

◆平成23年度事業計画

- ア. 農林漁家民宿自己診断シートによるテスト調査及び集計・分析（9月～11月）、100人送付50人回答
- イ. 品質評価・支援基準とハンドブックの作成と配布（12月～翌2月）1,000部
- ウ. 農林漁家民宿おかあさん全国サミット及び研修会の開催 1回（翌1月）、仙台市内、参加者100人
- エ. 農林漁家民宿おかあさん100選の広報活動
- オ. 農林漁家民宿検討委員会の開催 2回（8月、翌3月）委員6人

◎ オーライ！ニッポン大賞の実施

都市と農山漁村の共生・対流の優れた事例を表彰するオーライ！ニッポン大賞は、農林水産省とオーライ！ニッポン会議の共催、(財)都市農山漁村交流活性化機構の協賛により、第9回オーライ！ニッポン大賞として実施する。表彰式は、平成24年3月8日に開催する予定。場所は未定

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45番地
神田金子ビル5階 (財)都市農山漁村交流活性化機構
内 オーライ！ニッポン会議 TEL03-4335-1985

23年度スケジュール

時期	事項
	[1]多様な者から構成される検討委員会による都市農村交流の推進方策の検討 [2]観光と連携したグリーン・ツーリズムの取組事例収集及び効果的な情報発信の検討 [3]農林漁家民宿の品質向上の方策を検討
7月	① 第1回運営委員会開催 8/2
8月	② 第1回企画委員会開催 8/4 (GT商品・GT感動映像コンテスト等の実施について検討) ③ GT商品・GT感動映像コンテスト実施の予告案内 ⑩ 第1回農林漁家民宿検討委員会開催 9/1 (農林漁家民宿自己診断シートのテスト調査方法等の検討など)
9月	④ GT商品・GT感動映像コンテストパンフレット、WEBサイト作成 ⑤ GT商品・GT感動映像コンテスト募集 ⑥ GT商品・GT感動映像コンテスト説明会&講習会の開催(東京) ⑦ 農林漁家民宿自己診断シートのテスト調査実施(上旬:郵送、下旬:締め切り)
10月	⑦ GT商品コンテスト募集締め切り ⑧ 事務局による事前絞り込み作業 ⑨ リンク集構築のための情報収集開始 ⑪ 農林漁家民宿自己診断シートのテスト調査の集計・分析
11月	⑩ 第2回企画委員会開催 (GT商品コンテスト優秀賞審査決定) ⑫ 農林漁家民宿自己診断シートのテスト調査の集計・分析結果報告後、内容検討
12月	⑫ 評価・支援基準「農林漁家民宿自己診断シート」およびハンドブック作成開始 ⑬ 評価・支援基準「農林漁家民宿自己診断シート」と「ハンドブック」の送付
平成24年1月	⑪ GT感動映像コンテスト応募締め切り 応募作品整理 ⑭ 農林漁家民宿自己診断シートとハンドブック作成終了 ⑮ お母さん100選 全国サミットおよび研修会の開催(仙台市 予定)
2月	⑬ 第3回企画委員会開催 (GT感動映像コンテスト優秀作品選考) ⑭ GT商品及びGT感動映像コンテスト優秀者現地意見交換(1か所) ⑯ 普及推進のために策定した評価・支援基準「農林漁家民宿自己診断シート」と「ハンドブック」の送付
3月	⑭ 第2回運営委員会(23年度事業総括) ⑮ リンク集の構築 ★ オーライ！ニッポン表彰式、GT商品コンテスト及びGT感動映像コンテスト表彰式 3/8 ⑰ 第2回農林漁家民宿検討委員会開催 (今後の推進方策の検討など)